



校長室 だより

平成31年 3月 卒業・入試特集
尼崎市立常陽中学校
校長 小谷 豪郎 最終号

卒業式・式辞抜粋

中学校を卒業し、大人への一步を踏み出す今、改めて、君たちへ送ることばがあります。

一つ目は、昨年度本校のスローガンとして運動場のフェンスに掲示した、『今を最高に生きる』です。後ろを振り返って後悔したり、まだやってもいない先のことを考え、悩んだり、心配するのではなく、目標に向かい、目の前のことに全力を尽くし、・・・中略・・・

二つ目は、『命を大切に』です。・・・中略・・・兵庫県に生まれ育った者として「当たり前」のことが、当たり前でできる」日常への感謝の気持ちを含めて「命を大切に」ということを伝えていって下さい。

あなたが今 ここにいるのは お父さんとお母さんの奇跡的な出会いがあり 愛を育み そして何億分の1の確率で お母さんのお腹の中で芽生えた命 お母さんは10ヶ月の間、自分の命を分け与え 大切に育て そして命がけで産んでくれました。

『それがあなたです』

家族は、ただひたすらにあなたの成長を願い、雨の日も、風の日も、暑い日も、寒い日も、あなたの笑顔を見ては喜び、ふさぎ込んだら心を痛める、そんな毎日を積み重ね、深い愛情に包まれて今日まで育ってきた、それがあなたたちです。

その『命』は、決してあなた一人のものではありません。やがてあなたたちにも新しい家族ができ「新しい命」へと受け継がれていくのです。



35回生からの卒業式



卒業式の後、運動場でクラスごとの写真撮影が終わった後に卒業生が集まり生徒会長が代表して、私に花束をくれました。「校長先生も卒業ですね、長い間ご苦労様でした」とねぎらいの言葉をいただき、「エール」を合唱してくれ最後は、胴上げまでしてくれました。

生まれて初めての胴上げは、うれしい反面ひやひやでした。35回生のみんな、本当にありがとう。

育友会の皆様おめでとう！

皆さんが手にする『常陽の友』という育友会の広報誌がありますね。毎回、写真を沢山載せていただき工夫して学校の情報を発信していただいています。

毎年、尼崎市内の小中高、全ての育友会が活動として取り組んでいるこの広報誌のコンクールがあります。そこで常陽中学校の育友会の広報誌は、4年連続入賞をしてきました。そしてついに今年、第18回 尼崎市PTA連合会広報誌コンクール総合最優秀賞をいただきました。



育友会、橋本会長さま並びに広報部長さまおめでとうございます。これからもよろしく願いいたします！

35回生の進路結果

公立高校	推薦・特色：21
	複数志願等：48（第2志望：10）
	多部制1次：8
	多部制2次：4
	定時・通信：0
	特別支援：1
私立高校	専願：18（スポーツ：9）
	併願：73（入学者：8）
専門・専修学校	4
2次募集受検予定者	
	私立高校：0
	多部・定時・通信等：1
	専門・専修学校：0

兵庫方式の公立高校受験

- 合格判定の方法
内申点（5教科×4+4教科×7、5=250点）+ 当日（5教科÷2=250点）=500点 で判断します。
※複数志願の場合第一志望校に20点加算されます。
- 推薦・特色の受検は、適性検査の他に面接と小論文が有り 思いを話して伝える力、文章で伝える作文能力が必要です。
- 通知表の9教科全部3で、公立高校の合否が分かります。安心できません、当日の5教科のでき次第です。
- 前年度の進学状況をよく見て志望校を選択しましょう。複数志願をする場合の第2志望校をよく考えましょう。
- 入試問題は長文が多いので文章読解力が必要です。本を読み内容を読み取る力を付けましょう。

【今月の言葉】 — 池江璃花子 —

『私は、神様は乗り越えられない試練は
与えない、自分に乗り越えられない
壁はない、と思っています』